



平成28年日本民間放送連盟賞で優秀賞

2016.11.10

エー・ビー・シー・リブラ

朝日放送の100%出資子会社である(株)エー・ビー・シー・リブラ(大阪市福島区)が制作した BS 朝日の番組が平成28年日本民間放送連盟賞のテレビエンターテインメント部門で優秀賞を受賞しました。概要は以下のとおりです。

【テレビエンターテインメント部門 優秀賞】

放送局:BS 朝日、制作会社:エー・ビー・シー・リブラ

タイトル:「世界遺産で神話を舞う～人間国宝・能楽師とギリシャ人演出家～」(2016年1月3日放送)

プロデューサー 森本茂樹、遠藤行泰(BS 朝日) 山本泰弘、春名雄児(エー・ビー・シー・リブラ) ディレクター坪内大輔(エー・ビー・シー・リブラ)

1955年からギリシャで行われている「アテネ・エピダウロスフェスティバル」。

毎年、ギリシャ大統領をはじめ、世界中から演劇ファンが数10万人集まる大イベント。2015年は60周年。その目玉として、ギリシャ政府から日本の人間国宝・能楽師の梅若玄祥さん(65)へ、現存する世界最古の劇場「エピダウロス古代円形劇場(世界遺産)」で「能」を舞ってほしいという依頼がきました。日本人がこの聖なる舞台に立つのは初めて。

演目は、ギリシャ神話を題材にした新作能「冥府行」。そして演出はギリシャ人。

言葉も価値観も異なる東西2つの文化が交流しての創作は、決して平坦な道ではなく、苦難の連続。はたして、古代ギリシャ演劇と日本の伝統芸能は融合するのか。番組ではその創作現場に密着し、去年7月、神話の国ギリシャの世界遺産で新しい芸術が誕生する、その瞬間に立ち会いました。